

第4回

家庭のコミュニケーションで子どもは変わる

【日 時】 平成29年10月21日(土) 10時~12時
 【場 所】 大内地域交流センター 講堂
 【講 師】 Voice Academy CORDE 代表 白松 あつ子 氏
 【受講生】 大人21人(保護者・興味のある方)



最近はいじめ問題などをよくテレビで見かけます。
 そういう話を聞くと、学校教育もちろん、家庭での教育が子どもにとって重要なのだと感じます。

コミュニケーション能力って？

実は…

コミュニケーション能力が高い人 ^{ではない} ≠ おしゃべり・自己主張が強い・グループのリーダーなど

※「自分はコミュニケーション能力が高い！」と思っている人は勘違いしています。
 コミュニケーション能力の有無は自分ではなく第3者が判断するものです！

いじめない子に育てるには

いじめの多くは言葉の暴力です。

子ども達は家で大人が話している噂話などをそのまま使う

⇒普段から身近なところ(家庭)で使われている言葉を使うということ

※特に怒ったときなどは普段使っている言葉が出るもの

・子どもにとっては…

親が家庭で使っている言葉=自分も使っている言葉



◎家庭の中でどれくらい『日本語をしゃべっているか』が大切

⇒いろんな表現を使って話しましょう。日本語の表現方法はたくさんあります！

⇒「すごい」「楽しい！」などばかり使うのは×

- ・保護者の方も、良いと思った表現は使ってみて自分の物にしましょう
- ・授業では敬語は数時間しか教えない →家庭で教えてあげましょう
- ・大人同士の会話に子どもを混ぜてあげましょう→異年齢同士の会話に慣れる
 →発言のタイミングを考えるようになる

子どもの脳の発達

子どもの脳の発達は4段階に分けられるそうです。

- 🌸 0 ~ 3才（本能を育む時期）… 気持ち（楽しい・うれしい・悲しいなど）が伝わる脳が育つ
 - 🌸 3 ~ 7才（間引きの時期）… 間違えない脳、勉強ができる脳、脳に良い習慣が育まれる
コミュニケーション能力を身につけるのにも特に大切な時期
 - 🌸 7 ~ 10才（学習期）… 仲間と一緒に学習する習慣が育まれる→小学校入学時期
本能（気持ち）とのギャップを克服できる時期
＝やってはいけないことが分かるようになる
 - 🌸 10~12才（自立期）… 才能が発揮できる脳、共存できる脳が育つ
-
- 🌸 12才 ~ … 大人の脳になる

7才までに

小学校に上がるまでに、できるだけ日本語を使って母国語を身につけましょう！

⇒何をすればいいの？

1 絵本の読み聞かせ



下手でも家族が
読んであげましょう

感情を込めすぎないのがコツ

2 歌をうたう

家族が歌ってくれた
歌は子どもの情緒を
育みます



3 話しかける



「楽しかった？」
と聞くだけでなく、
『誰と』『何をした』なども
聞きましょう。

自然とコミュニケーションの
仕方が身につきます！

※7才以降でも子どもの脳のうちは、言葉の書き換え（上書き）ができます！

叱り方のコツ

感情に任せて怒るのと、叱るのとは違います。
叱るときのコツをいくつかご紹介します。



- 言うておかないといけないことだけ叱ること
⇒話の論点がずれていくので過去の話はしない!
- 子どもの表情をしっかり見ること
⇒叱っているときほどよく見て、反省している表情になったらそこでやめましょう
- 相手の話を最後まで聞くこと
⇒子どもの話をさえぎらない、話を取らないで子どもに発言させましょう
➡相手に伝わるか考えながら言葉を選ぶようになる
- 自己開示すること
⇒自分が経験したことは隠さないで言いましょう
どうやって克服したかなども話してあげましょう

白松先生からメッセージ

☆『読み聞かせ』『歌をうたう』『話しかける』のどれか1つでも毎日やれば、コミュニケーション能力が育っていきます。

☆子どもたちにいろんな言葉を投げかけてあげましょう。

☆子どもの話を聞くとき、相槌は点（、）のとき息継ぎのときに言うようにしましょう。

☆子どもの話がずれて行っても、話を最後まで聞いてから軌道修正してあげましょう。

☆話しかけるときは語尾を優しく丁寧に。会話が上手くいくようになります。

講座の様子から

2時間の間、さまざまな事例や先生の子育て経験談を交えながら、子どもとのコミュニケーションの取り方や叱り方のコツなどについて分かりやすくお話していただきました。

受講生の方も熱心に話を聞き、メモを取っていらっしゃいました。

最後の質問コーナーでは、積極的に手をあげて質問されていました。

アンケートにもたくさんの感想が寄せられました。



受講生の方からの

ご意見・ご感想

一部
ご紹介

☆ご自身の経験をもとに話していただき、とても分かりやすかったです。子どもとのコミュニケーションだけでなく、夫婦間や祖父母とのコミュニケーションにも実践できる内容で、これからの生活に役立ちそうです。

☆とても分かりやすいお話でした。今日から実践したいと思いました。

☆実践できそうなお話を聞けましたので、やってみようと思いました。

☆子どもをよく見て、よく聞き、よく話していこうと思います。

☆子どもを育てる上で、いろいろな情報がある中で役に立つことがあればと思い、講座を受けました。子育ては不安も多いですが、親子の仲を、キズナを深めていけるようにコミュニケーションを取れる子どもになってほしいと思いました。

☆講師の先生の話がおもしろく、とても興味深く聞くことができました。子どもがコミュニケーション能力を身につける1番いい時期にこの講座に参加し、勉強できて良かったです。これから、先生から教えていただいた事を頭に入れて、子どもと接していきたいと思います。ありがとうございました。

☆日常的に心がけていこうと思うことをたくさん教わられて良かったです。実践あるのみ！

☆親子のコミュニケーションの大切さを改めて感じました。自分の子どもが将来困らないように、日頃から「読み聞かせ」や「歌」「話しかけ」をしたいと思います。
また、いろんな言葉で表現できるよう、テレビなどで聞いたすてきな言葉を声に出し、自分のものにしておこうと思います。さらに、「見ること」「聞くこと」を大事に子どもとのコミュニケーションをとっていきたいです。
特に、叱るときは気を付けようと思います。今日は本当にありがとうございました。受講してよかったです。

御協力ありがとうございました

